

ふれあい情報誌

みなみの

Hospital Medicine Magazine Minamino

2020

31号

2020.8発行



- 南野病院での新型コロナウイルス感染対策
～出来ることを一步一步～
- 未知の感染症に対しての当院での備え
- ～笑顔に会える～ ビデオ面会のご案内



医療法人仁寿会

南野病院



基本理念

患者様に安全と安心と満足を提供します。

患者様の権利

● 選べる権利 ● 知る権利 ● 参加する権利 ● 自ら決める権利 ● プライバシーに関する権利

南野病院での新型コロナウイルス感染対策 ～出来ることを一步一步～

2020年	1月下旬～2月	3月	4月	5月	6月	7月
国内の発生状況等	中国武漢市での感染確認 クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」 2/3 横浜港帰港 感染者 712名 1/28 日本にて初の感染者	○医療機関において医療スタッフが感染源となるクラスターが発生 市中感染あり 多数の人が集まるイベント中止 オリンピック・パラリンピック延期 *専門家会議	3月終盤以降患者数急増 東京100人超/日 4/7 7都道府県に緊急事態宣言 ○急性期病院、施設にてクラスター発生 4/16 全国に緊急事態宣言	感染爆発の重大局面 5/25 緊急事態宣言解除 福岡・北九州で患者増加 三密(密閉、密集、密接)を避ける	東京アラート発令～6/11 会食による感染 ソーシャルディスタンス テレワーク	東京・大阪など患者数増加50～300人 接待を含む飲食店での感染拡大 (夜の街関連)
県内の発生状況		初の感染者発生(吉岐) 感染者2人目発生	感染者14名へ増加 (吉岐・県北)	ドック入りしたクルーズ船(コスタ・アトランチカ)感染者148名		7/3 長大病院学生感染、 長崎みなとメディカルセンター 諫早市での感染相次ぎ 7/27時点 52名
ICT委員会の動き	緊急ICT委員会開催(以後毎週木曜日にICT委員会開催):院長、ICT委員長、各部署代表者が出席し、議事録を以て職員全員へ周知徹底を図る ※ICT(infection control team:感染対策チーム) 現状報告と分析、改善 議題:国内・県内の状況把握、備品のチェック、各部署の問題点の把握と対処方法の検討、改善策についての実施状況報告					
備品の在庫確認と確保		☆防護衣の在庫状況チェック ・N-95マスク入荷なし ・防護衣入荷遅れ始める	・マスクの在庫が減少、1日1枚へ→数日に1枚へ ・フェイスシールド、ゴーグル準備 ・手荒れ防止アルコール入荷なし フェイスシールド作成(クリアファイル使用しディスプレイ) 5/9 ゴミ袋での防護衣(袖)を作成し、ビニールエプロンと組み合わせて着用(右上)	・サージカルマスク(規格)は入手困難。規格外マスク使用 ・フェイスシールド看護師全員に配布		・防護具(キャップ)作成(上)
職員教育健康管理	《手指消毒の徹底》 《勤務前、勤務後の検温と記録》 《体調不良者は職場長へ連絡し出勤を見合わせる》 《37.5℃発熱が4日以上持続する場合は出勤停止》 《不要、不急の外出禁止(注意喚起)》	3/30 不要不急の外出禁止(指示) ・非接触型体温計準備 ・パソコン使用前後の手指消毒(全てのパソコンにシールを貼付) ・院内のスイッチ類には「接触後手指消毒」シールを貼付	☆職員への面会制限についてアンケート実施 (面会について問題ありと答えた職員が40%を占め 面会のルールを守らない家族もあり、患者や自身を守れないので 面会制限を厳重にして欲しいとの要望が多数あり)		6/25・本人及び家族が県を跨いだりする場合は職場長へ報告 ・複数人での宴会、会食は避けるようにする ・同居家族での外食についてはテイクアウトの利用 や密な場所を避ける等、感染防止に努める	
環境整備	・外来の雑誌、広報誌の撤去 ・アルコール設置、表示		4/6～ ・換気を十分に(チェック表で確実に) (窓を2か所以上開け、1時間に1回10分換気)	三密を避ける		・透視室吸気ファン交換 (6分弱で1回換気)
外来	緊急ミーティング開催 ・対面の診療中止、電話による診療へ切り替える ・健診業務中止 ・新患の受け入れ停止 ・車での診療待ち		4/13 受付及びレントゲン撮影室前、新館エレベーター)に コーン・チェーンを使用し立ち入り禁止を表示し簡易ゾーニング		6/5 健診業務再開準備 感染防止対策検討し シミュレーション実施	7/6 健診業務再開 7/12 休日当番医 ゴーグルもしくはフェイスシールド使用し、基本的に車中での診療
受付	風除室での待機、換気可能な空間を利用 正面玄関にコロナ対策により出入り制限を表示、風除室へボードを配置		4/30 窓口アクリル板の設置		受付での密を避けるために、椅子の配置変更	
病棟	☆療養病棟、回復期病棟面会制限(重篤な場合を除く) 洗濯物の受け渡しは1階の風除室	☆緩和ケア病棟(感染防止に努めながら面会可能) 検温・体調確認、手指消毒の実施、マスク着用 少人数、短時間での面会とし病室の窓とドアを開け換気	・入院用観察室を準備 (ガウンテクニックの感染防止導入) 希望を聞きながら在宅への移行の検討(在宅での看取りも含む) 家族へ状態や変化、カンファレンスの内容を電話連絡する 看護師の目標:感染防止を図りながら、患者や家族の思いに寄り添ったケアの実施 積極的に外出・外泊を支援し「会いたい」希望を実現	5/7 スマートフォンを利用し面会 5/14～全病棟タブレットによる面会開始(予約制 10分程度) 5/9～面会制限(重篤な場合は特定の方のみ) 6/4 段階的の面会方法について検討		6/25 看取りの場合の家族を限定(2名)
リハビリ	☆リハビリは各病棟で実施 (階跨ぎをしない)	・セラピストは1日を通して同一病棟でリハビリテーションを行う ・デイケア利用者は回復期病棟患者との接触を避け、場所を限定				6月～療養病棟 週1回(水曜日のみ)午後よりリハビリ室使用可 6月中旬より 療養病棟 週2回(火、金)午後よりリハ室使用可
老人ホーム デイサービス	☆面会制限 自宅にて検温、37.5℃以下でサービス利用可能					6/15～タブレットによる面会開始
その他						外部業者の出入り制限(医療機器、リネン、院外検査、食材搬送等)



未知の感染症に対しての当院での備え



南野病院 院長 **南野 淳**

世間を変えた新型コロナウイルス感染症COVID-19

2020年新年早々、中国武漢で新型肺炎流行か?と海外ニュースが流れました。この時点では漠然とパンデミックの言葉が脳裏をかすめました。瞬く間に新型コロナウイルスは詳細が分からないまま1月末に武漢が都市封鎖、2月にはイタリアやスペインを皮切りに都市封鎖が報道され、パンデミックが宣言され国際的な人の流れや経済活動に支障を来す事態となっています。日本でも1月末より武漢型の小流行、3月末から欧米型の大流行を経て緊急事態宣言や外出自粛など対応がとられました。その後県をまたいだ移動自粛の解除など経済を回すための方策がとられ、8月上旬時点では、各地で前回以上の感染者増加が報告されています。まだ新型コロナウイルス感染症(以下COVID-19)について、我々は多くの事が分からない状態です。驚異的なスピードで遺伝子学的検査(PCR法など)が可能となりましたが、この方法も3割の見落としがある不完全な検査です。陽性であれば診断がつかますが、陰性の結果が感染していない証明にはならない欠点を持っています。インフルエンザの様な簡便な検査や抗インフルエンザ薬など同等の治療法はありません。若年者では比較的病原性が低いものの、高齢者や持病をお持ちなど体力が低下されている方には死亡率が高く、病原性が高いことがわずかに分かり、いずれも全世界で手探りの研究が続いている状態です。

感染防御の常識を変えたCOVID-19 防護具が足りない

従来空気感染を起こす疾病以外は接触感染対策、飛沫感染対策を重点的に行えば充分と考えられ、COVID-19についても、当初はこの範疇で対応していました。ウイルスは手に付着しただけでは感染しません。感染者の咳やくしゃみで顔の粘膜に唾液がかかったり、無意識に汚染された手で顔の粘膜(口、鼻、眼)を触ることで感染します。唾液は飛んでも直ぐに落ちるので、2m程度の距離をとれば問題ないとされており、いわゆる社会的距離や公衆の場でのマスク着用などは、咳エチケット推進の根拠でした。しかしCOVID-19は、その概念を越えた対応が必要でした。

問題となるのはエアロゾル感染です。エアロゾル感染とは医療行為など特殊条件下で発生し、SARS流行時の海外で、多くの院内感染の原因と推定されました。具体的には気管内挿管、気管内吸引時などに発生する病原体を含んだ微粒子がその室内を漂い、呼吸で吸い込むことにより感染が成立します。この概念は今回の事態まで、感染対策として重要視されていませんでした。

このCOVID-19におけるエアロゾル感染への対策としては、今までの対応では不十分であり、空気感染に準じた対策をとる必要があります。十分に対策を行っている医療機関において、院内感染の発生は抑えられています。しかし全国的に感染対策備品の需要が増え、マスクやガウンなど感染対策に必要な備品を調達できない状況が続いています。多くの医療機関では感染機会を減らす目的で、外来での電話診療や病棟の面会制限、病院内への立ち入り制限などが行われています。当院でも後述の通り、感染発生を最小限に抑えるべく工夫しています。

当院での感染対策 出来る事を一步一步

2月下旬より、毎週感染対策委員会による協議と対応を続けています。出来る事から確実に実行をと、職員への感染対策教育を再度徹底しました。標準予防策、感染経路別予防策も徹底しています。

途中エアロゾル感染や無症候性感染者からの感染、発症数日前より感染性がある事が分かり、院内感染を起こしやすい性質が明らかになってきました。院内ではエアロゾルを発生しうる処置に対して空気感染対策を行っています。感染対策備品の不足は、あたかも丸腰で戦場に出るような感覚に陥ります。慎重に確保しながら、代用できるものは代用し対応しています。

換気対策も重要ですが、規則に定められている居室の換気回数は1時間に概ね1回程度であり感染対策には不十分です。常に窓を開けながら換気を行い、透視室など窓がない場所は6分弱で換気できる吸気ファンへ変更しています。

当院にはエリアを分けるほど広さがありません。危険性を最小限にとどめるため、2月下旬より7月まで健診事業の停止。外来では待合室での感染機会を減らす目的で電話診療の活用、車での診療待ちや換気の効く外来居室での待機を開始しています。病棟では一部例外を除いて面会制限を開始、代わりにタブレットによるテレビ面会を活用しています。

面会制限は当院にしても辛いものです。段階的な面会方法を設定し、毎週面会レベルを協議していますが、レベル2のまま緩和できず、継続している状況です。

また、院内には職員食堂や休憩室、更衣室などのバックヤードも存在します。一番気が緩む場所での感染対策や、生活面でも医療者として感染危険性のある行動を慎むよう指導しております。

一般的な環境でもエアロゾル感染・三密を避けなければならない理由

厄介なことにCOVID-19の場合、声を発することでもエアロゾルが発生する可能性が分かってきました。政府専門家会議は、我々が日常接する一般的な環境でも三密のどれかで、あたかも空気感染と同様に感染力を持つとし、3密対策を提唱しました。

換気しづらい構造の飲食店で長時間会話をする場合や、カラオケで歌うなど声量をだす状況でエアロゾル感染が起こっているようです。「咳エチケットを守り距離をとりましょう（飛沫感染対策）。ウイルスが手に触れただけでは感染しませんが、その手で口や鼻、眼などの粘膜に触れると感染します。手洗いをしましょう（接触感染対策）。」だけでは足りません。三密を避けることが重要です。飲食店を利用される前に、その店の換気が十分かどうか、利用客の距離がとられているかどうか確認することが大事です。

地域全体での感染対策にご協力ください。

この疾患は恐れという副次的問題を生み出しました。情報が少なく、噂を元にした誤った情報で疑心暗鬼が生まれます。疑心暗鬼は自粛警察、他県ナンバー狩りなどの言葉を生むなど社会的不安を引き起こしました。当院は地域住民に不安を与えないよう、行政と連携しながら適切な情報公開を行っていきます。この感染症が早く収束し安心して暮らせる日々を、当院スタッフ一同願っています。今しばらく皆様も各々新しい生活を実践していただき、地域で一体となった感染対策を行えますようにご協力いただければ幸いです。



当院での段階的面会(対面)方法

面会レベル	予約制	1回の面会人数制限		面会場所
		人数	時間	
レベル1	要	延4人	20分	病室
レベル2	要	延2人	5-10分	ビデオ面会
レベル3	面会禁止			

前提条件(背景)

- ① 面会者・面会者の同居人に発熱など症状なし
- ② 年齢 12歳以上
- ③ 流行地域への移動歴が2週間なし

面会時決まり

- ① マスク着用、前後の手洗い、手指消毒
- ② 換気により空気の流れが来ていること
- ③ 腕を伸ばしても触れない距離を保つ。触れ合いは原則禁止
- ④ 飲食禁止

～笑顔に会える～ ビデオ面会のご案内

ご自宅のスマートフォンから、当院1階のタブレットから、ビデオ面会を行っています。

ご来院いただく場合は、当院1階にビデオ面会用ブースを設けており、そちらから病棟のタブレットにビデオ電話をつなぎ、お話いただけます。

ご自宅のスマートフォンからの場合、最初に入院病棟のメールアドレス登録などの作業が必要なため、ご来院時にスマートフォンの設定をお手伝いいたします。



自宅スマートフォンより ▶ 平日 14:00-15:00

当院1階ロビーより ▶ 平日 15:00-16:00

いずれも
予約制です。

ご予約は、当院代表番号

☎0957-54-8800 へお電話下さい。

医療法人仁寿会 南野病院

〒856-0826
大村市東三城町33番地 TEL.0957-54-8800 (代) FAX.0957-54-8755
療養病棟/回復期リハビリテーション病棟/緩和ケア病棟
健診部 TEL.0957-54-5551 FAX.0957-54-8755
通所リハビリテーション/訪問リハビリテーション ゆ〜かり

有料老人ホームほほえみ TEL.0957-47-8601 FAX.0957-47-8632
デイサービス ゆ〜かり TEL.0957-47-8606 FAX.0957-47-8607
ヘルパーST オリーブ TEL.0957-47-8857 FAX.0957-47-8858
居宅介護支援事業所 コアラ TEL.0957-53-3731 FAX.0957-53-3732
みなみの保育園 TEL.0957-56-8812 FAX.0957-56-8821

診療科目 ●内科 ●消化器科 ●放射線科 ●循環器科 ●リハビリテーション科
休診日 金曜午後・土曜・日曜日・祭日

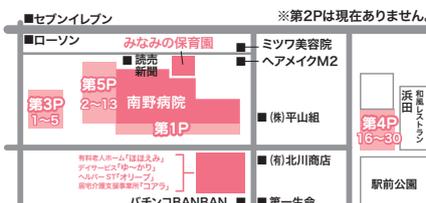
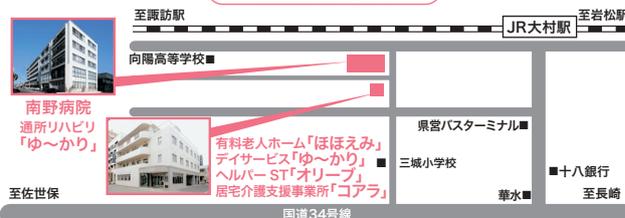


南野病院

検索

ホームページ <https://www.minamino-hosp.jp/index.html>

交通アクセス



駐車場のご案内

交通のご案内

- 県営バスターミナルより 徒歩2分
- 大村駅から徒歩2分